

# 中小企業景況調査報告書

2023年 7月～9月期 実績

( 2023年 10月～12月期 予測 )

調査実施時点 : 2023年9月1日

京都府商工会連合会

## 《 目 次 》

1. 中小企業景況調査の概要	2 頁
2. 京都府内商工会地域産業の景況【総括】	3 ~ 4 頁
3. 各業種の景況	
(1) 製造業の景況	5 ~ 6 頁
(2) 建設業の景況	7 ~ 8 頁
(3) 小売業の景況	9 ~ 10 頁
(4) サービス業の景況	11 ~ 12 頁

### D・I とは (景気動向指数)

この報告書の中で用いている「**D・I 指数**」とは、ディフュージョン・インデックスの略で、企業経営者の景気の波及度合いを表す指標として、利用されています。

#### 《算出方法》

前年同期に比べて、

$$\frac{\text{『増加』回答企業の割合}}{\text{(上昇・好転等)}} - \frac{\text{『減少』回答企業の割合}}{\text{(低下・悪化等)}} = \text{D・I}$$

D・I が、**プラス (+)** 値 …… 強気 (楽観) を表す。

D・I が、**マイナス (-)** 値 …… 弱気 (悲観) を表す。

例えば、売上が前年同期比で、

『増加』回答企業 50%、『不変』回答企業 30%、『減少』回答企業 20% の場合、

$$\text{D・I 指数は、} \quad 50\% - 20\% = 30\%$$

となり、経営者の売上に対する業況観が、強気気運であることを表しています。

# 1. 中小企業景況調査の概要

この調査は、商工会地域の産業の状況、地域の経済動向等について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速かつ的確に収集把握して、経営改善普及事業の効果的な指導資料にするために、全国商工会連合会が実施する調査に連携し、府内の状況を取りまとめたものです。

調査要領、本年度の調査対象商工会及び、調査回答企業数・対象業種別構成の内訳は次のとおりです。

## (1) 調査対象期間

2023年7月～9月期を対象とした。

調査実施時点 …… 9月1日(金)

調査期間 …… 8月22日(火) ～ 9月1日(金)

## (2) 調査の方法

(イ) 商工会の経営支援員の訪問による面接調査とした。

(ロ) 調査対象商工会の選定は、管内ごとの市町村人口を勘案し、又、調査対象企業の抽出は、各業種・規模等の有意抽出法とした。

## (3) 調査対象商工会

京丹後市商工会、与謝野町商工会、京丹波町商工会、南丹市商工会、向日市商工会、大山崎町商工会、井手町商工会、宇治田原町商工会、八幡市商工会、木津川市商工会、和束町商工会、長岡京市商工会、京田辺市商工会、久御山町商工会、笠置町商工会、精華町商工会、南山城村商工会、京北商工会、福知山市商工会、伊根町商工会

(計20商工会)

## (4) 対象業種別構成 及び 回答企業数

業種	調査対象企業数	構成比	回答企業数	回答率
製造業	36	20.0%	36	100.0%
建設業	24	13.3%	24	100.0%
小売業	52	28.9%	51	98.1%
サービス業	68	37.8%	67	98.5%
【合計】	180	100%	178	98.9%

## 2. 京都府内商工会地域産業の景況【総括】

《概要》

### 物価上昇の中で先行き不透明な景況

円安や、物価上昇などの不確実性が残る中、今期の売上DIは全産業平均で対前期比1.2ポイントの悪化(前期▲1.5ポイント→今期▲2.7ポイント)となった。

内訳は、製造業が0.1ポイントの悪化(前期▲5.5ポイント→今期▲5.6ポイント)、建設業が3.8ポイントの改善(前期8.7ポイント→今期12.5ポイント)、小売業が5.3ポイントの改善(前期▲38.0ポイント→今期▲32.7ポイント)、サービス業が13.6ポイントの悪化(前期28.8ポイント→今期15.2ポイント)となった。

採算DIは、全産業平均で対前期比8.5ポイントの悪化(前期▲22.3ポイント→今期▲30.8ポイント)となり、内訳は、製造業は変化なし(前期▲11.1ポイント→今期▲11.1ポイント)、建設業が16.6ポイントの悪化(前期▲12.5ポイント→今期▲29.1ポイント)、小売業が1.9ポイントの悪化(前期▲43.2ポイント→今期▲45.1ポイント)、サービス業が15.6ポイントの悪化(前期▲22.3ポイント→今期▲37.9ポイント)となった。

来期の見通しとしては、売上DIが全産業平均で6.2ポイントの悪化(今期▲2.7ポイント→来期見通し▲8.9ポイント)、採算DIでは全産業平均で0.7ポイントの改善(今期▲30.8ポイント→来期見通し▲30.1ポイント)となっている。

業種別景況指標(景気の天気図)では、製造業がやや悪化、建設業がやや好転、小売業が悪化、サービス業がやや好転となった。

採算の来期見通しは、製造業が13.9ポイントの悪化(今期▲11.1ポイント→来期見通し▲25.0ポイント)、建設業が4.1ポイントの改善(今期▲29.1ポイント→来期見通し▲25.0ポイント)、小売業が9.8ポイントの改善(今期▲45.1ポイント→来期見通し▲35.3ポイント)、サービス業が3.0ポイントの改善(今期▲37.9ポイント→来期見通し▲34.9ポイント)となっている。

### 業種別景況指標 (景気の天気図)

※天気図は売上DI

	R4年			R5年			R5
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月(見通)
製造業							
建設業							
小売業							
サービス業							

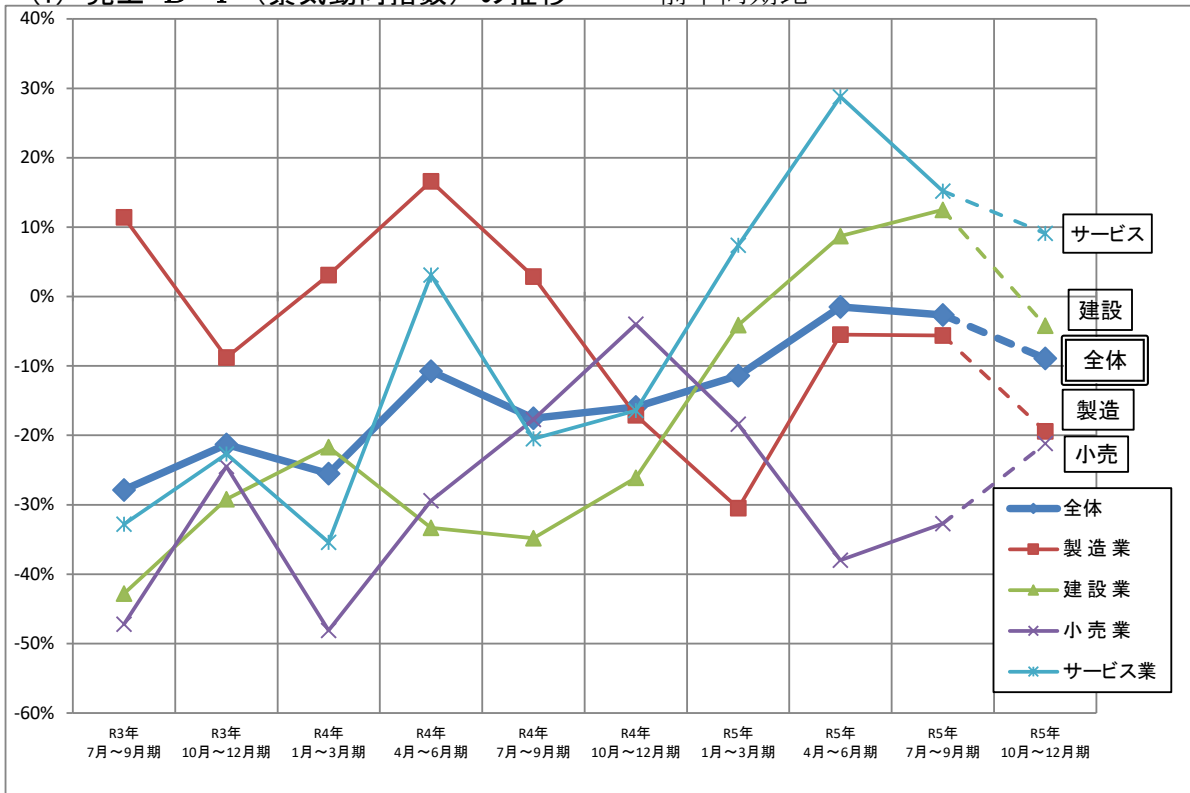
天気図のよみ方

D・I	100.0 ～50.1	50.0 ～25.1	25.0 ～0.1	0.0 ～▲25.0	▲25.1 ～▲50.0	▲50.1 ～▲100.0
指標						
内容	特に好転	好転	やや好転	やや悪化	悪化	特に悪化

## 2. 京都府内商工会地域産業の景況【総括】

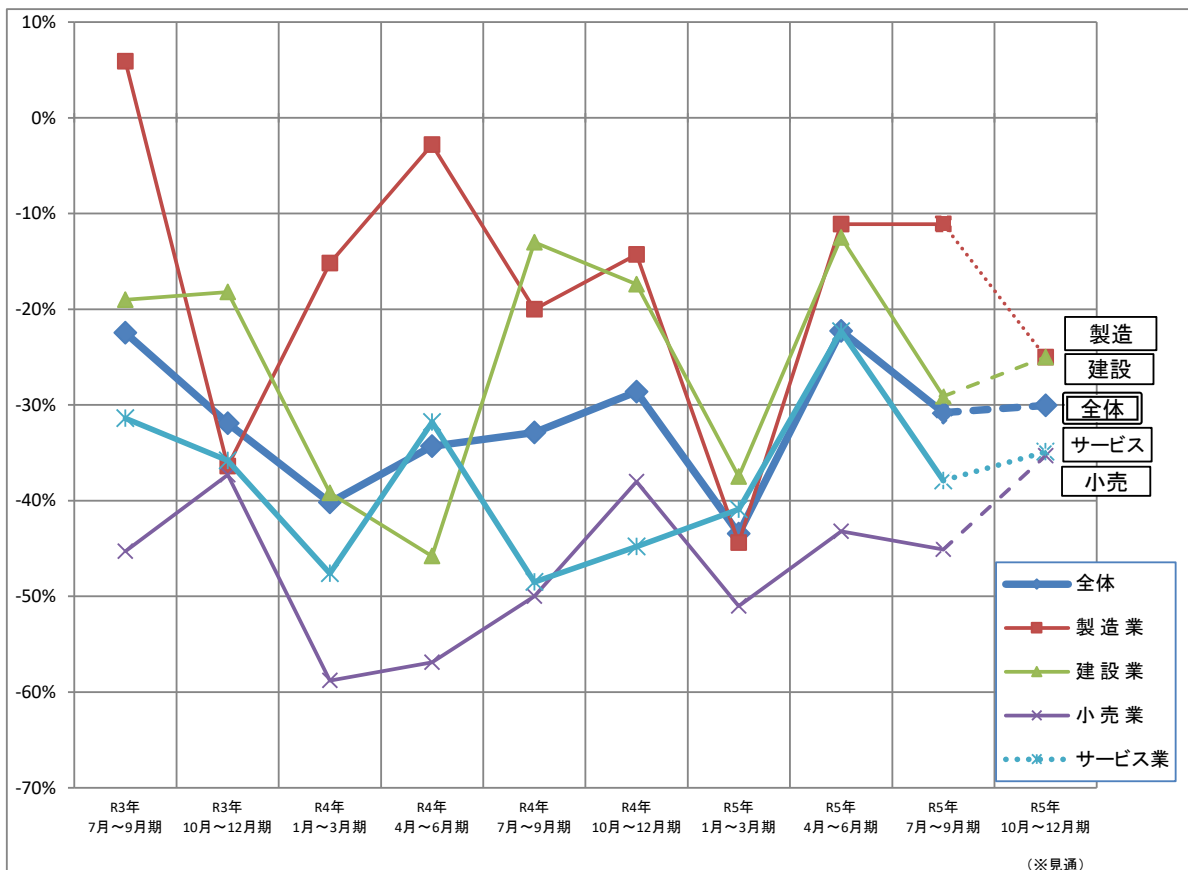
### 《売上と採算の推移》

(1) 売上 D・I (景気動向指数) の推移 —前年同期比—



(※見通)

(2) 採算 D・I (景気動向指数) の推移 —前年同期比—



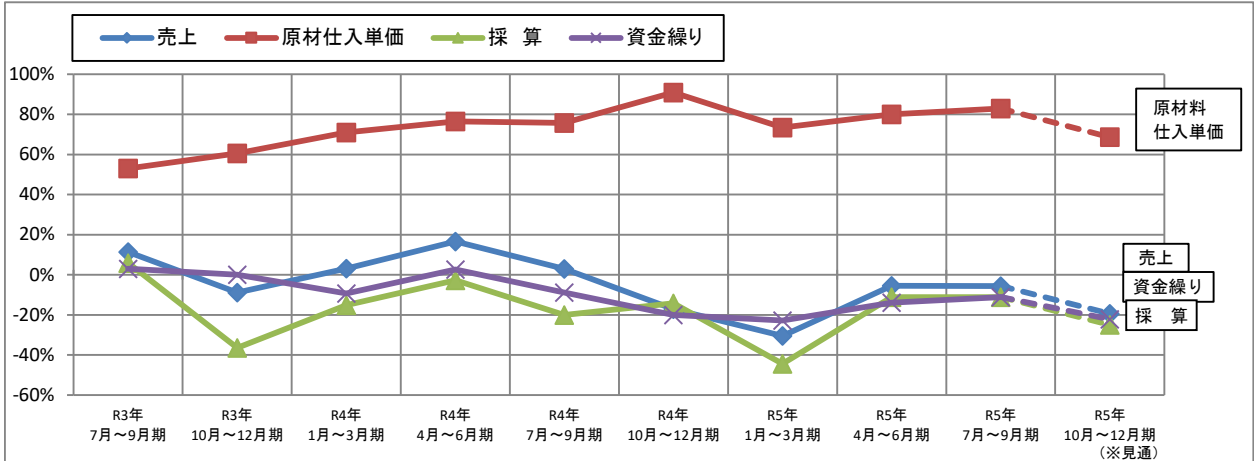
(※見通)

# 3. 各業種の景況

## (1) 製造業

### ① 製造業 D・I 値 (景気動向指数)の推移 —前年同期比—

製造業	R4年		R5年			来期予測
	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期
売上	2.9%	▲ 17.1%	▲ 30.5%	▲ 5.5%	▲ 5.6%	▲ 19.4%
原材仕入単価	75.8%	90.9%	73.5%	80.0%	82.9%	68.6%
採算	▲ 20.0%	▲ 14.3%	▲ 44.4%	▲ 11.1%	▲ 11.1%	▲ 25.0%
資金繰り	▲ 8.8%	▲ 20.0%	▲ 22.8%	▲ 13.9%	▲ 11.1%	▲ 22.2%



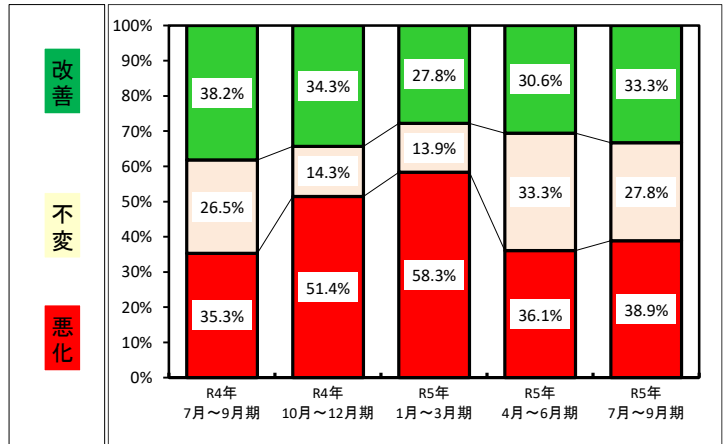
売上 …… ▲ 5.6 ポイント  
(前期比 0.1 ポイント悪化)

仕入単価 …… 82.9 ポイント  
(前期比 2.9 ポイント改善)

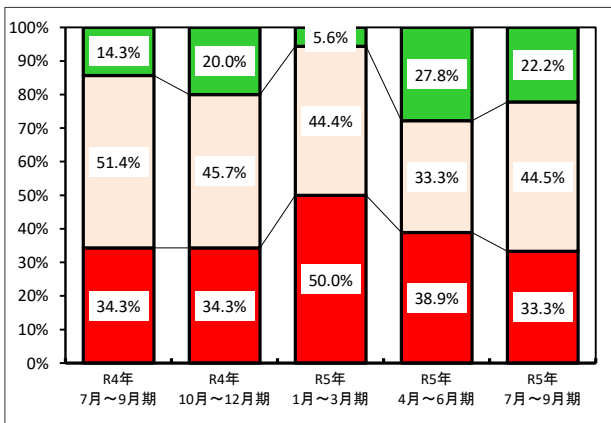
採算 …… ▲ 11.1 ポイント  
(前期比 0.0 ポイント改善)

資金繰り …… ▲ 11.1 ポイント  
(前期比 2.8 ポイント改善)

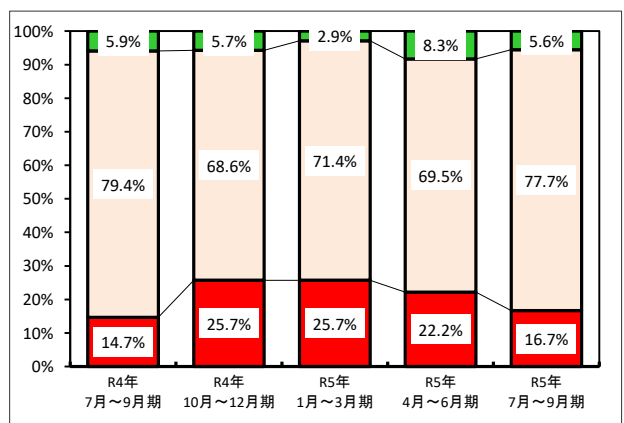
#### ※『売上(加工)』の状況 前年同期比 (D・I 値)



#### ※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



#### ※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



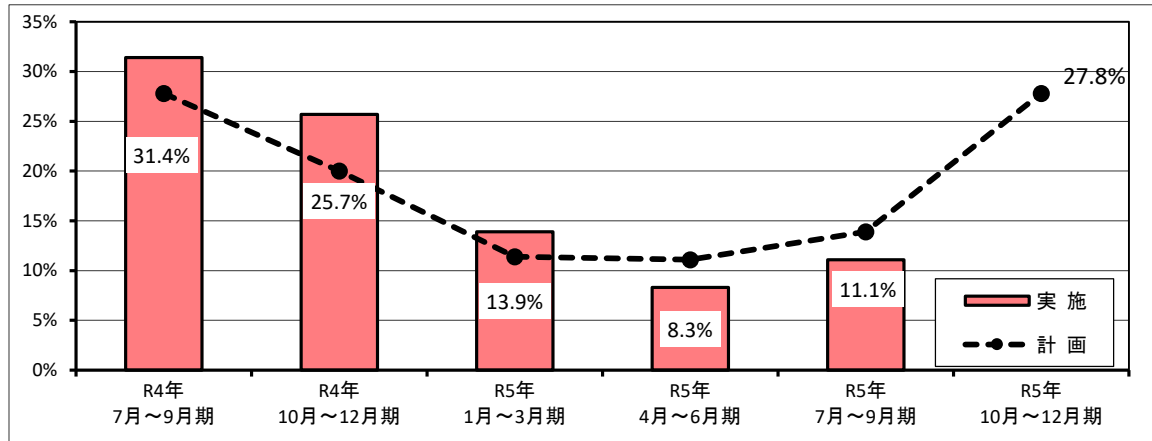
### 3. 各業種の景況

### (1) 製造業

② 設備投資の状況（当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計）

今期の設備投資の実施状況は、11.1%（前期比2.8ポイント改善）であった。

製造業	R4年		R5年			(計画) R5年
	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期
土地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
車両・運搬具	18.2%	22.2%	20.0%	0.0%	50.0%	0.0%
生産設備	54.5%	33.3%	40.0%	66.7%	25.0%	0.0%
設備投資の実施	31.4%	25.7%	13.9%	8.3%	11.1%	27.8%

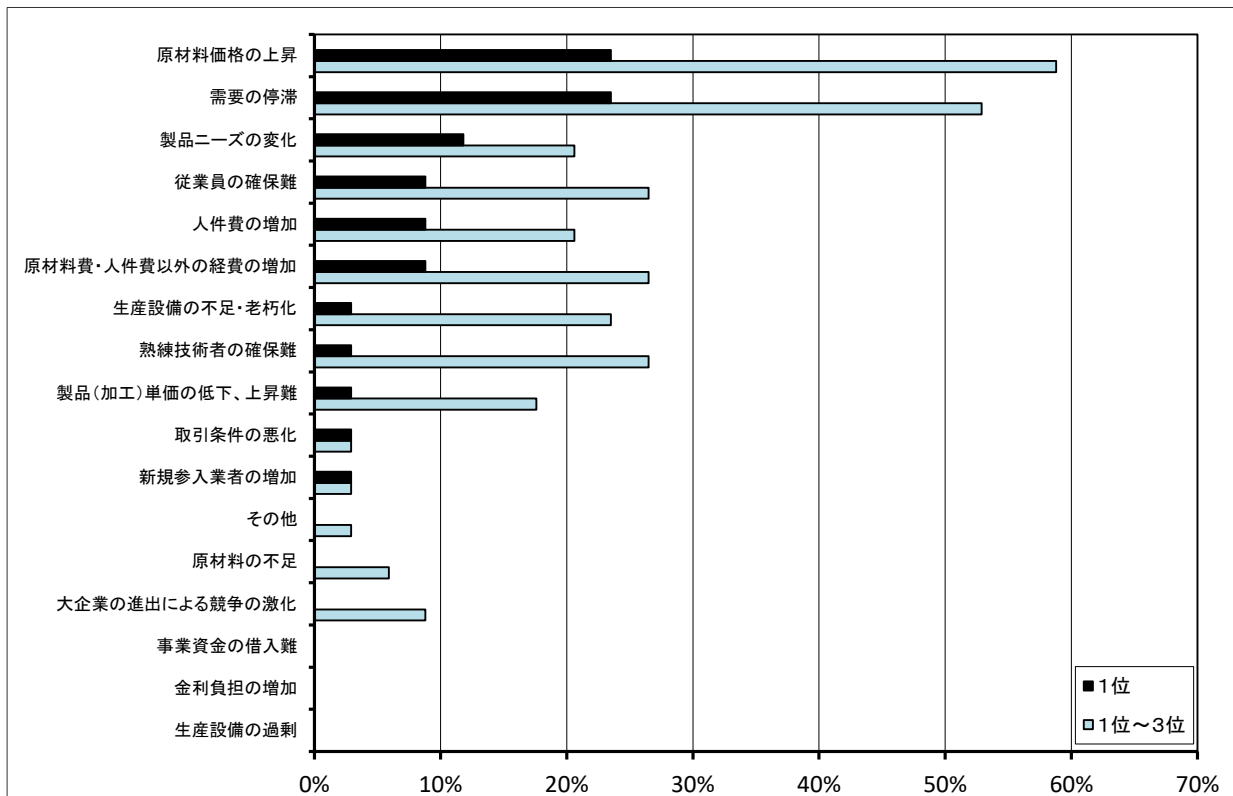


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

### ③ 経営上の問題点

※ グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「原材料価格の上昇」「需要の停滞」「製品ニーズの変化」が上位となった。

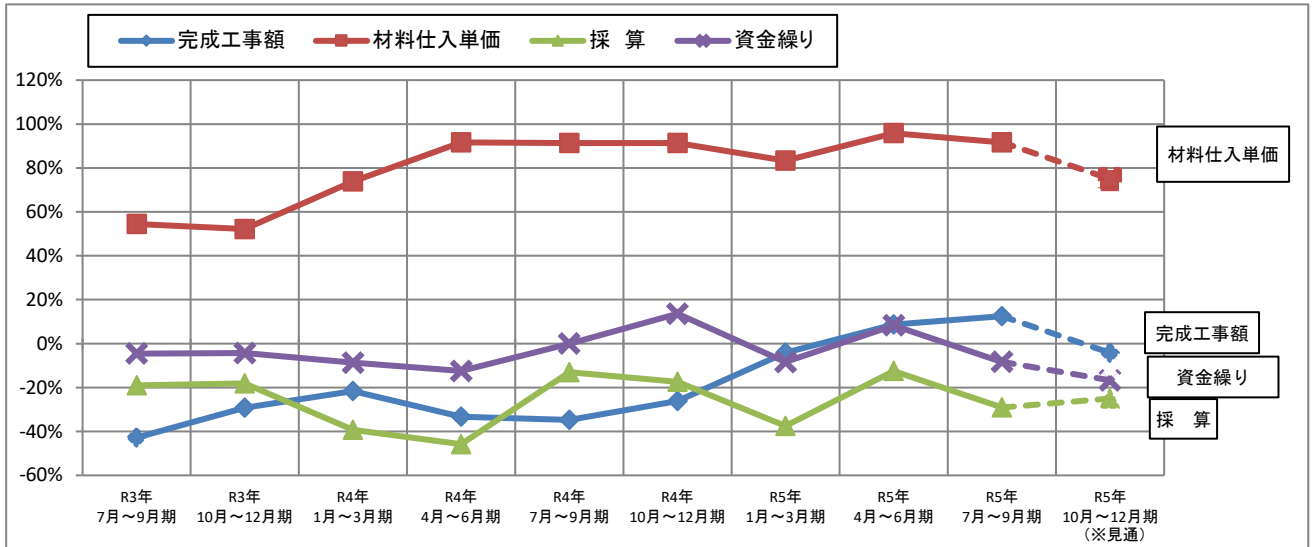


# 3. 各業種の景況

## (2) 建設業

### ① 建設業 D・I 値 (景気動向指数)の推移 —前年同期比—

建設業	R4年		R5年			来期予測
	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	R5年 10月～12月期
完成工事額	▲ 34.8%	▲ 26.1%	▲ 4.1%	8.7%	12.5%	▲ 4.2%
材料仕入単価	91.3%	91.3%	83.3%	95.8%	91.7%	75.0%
採算	▲ 13.0%	▲ 17.4%	▲ 37.5%	▲ 12.5%	▲ 29.1%	▲ 25.0%
資金繰り	0.0%	13.6%	▲ 8.4%	8.3%	▲ 8.3%	▲ 16.7%



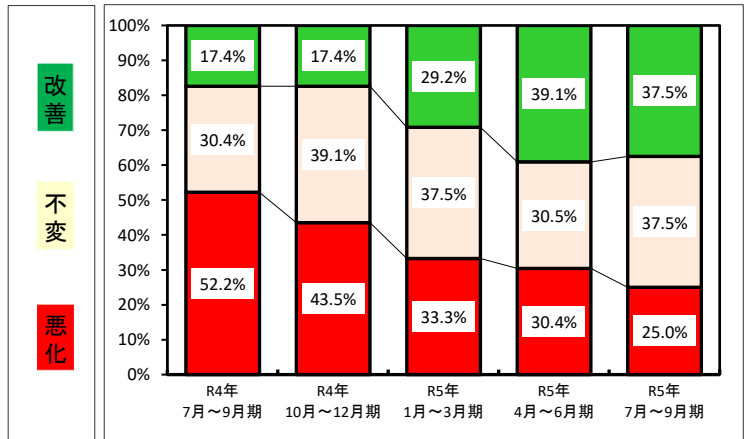
完成工事額 .. 12.5 ポイント  
(前期比 3.8 ポイント改善)

仕入単価 ..... 91.7 ポイント  
(前期比 4.1 ポイント悪化)

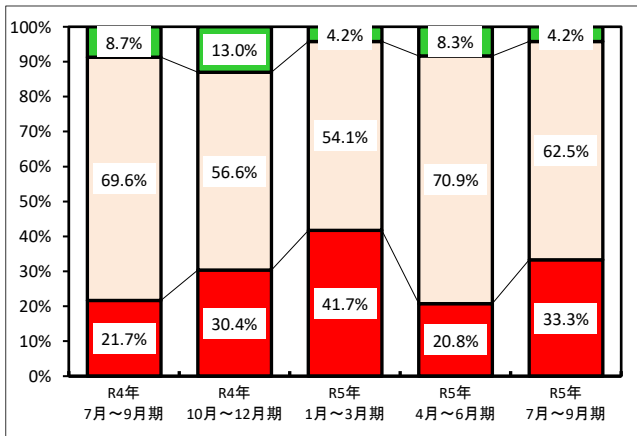
採算 ..... ▲ 29.1 ポイント  
(前期比 16.6 ポイント悪化)

資金繰り ..... ▲ 8.3 ポイント  
(前期比 16.6 ポイント悪化)

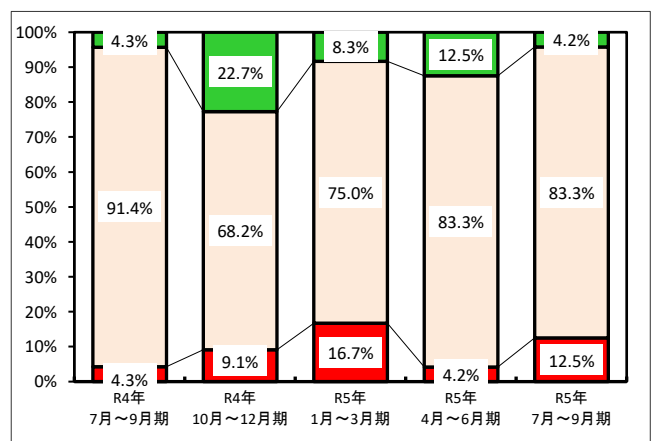
#### ※『完成工事額』の状況 前年同期比 (D・I 値)



#### ※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



#### ※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)





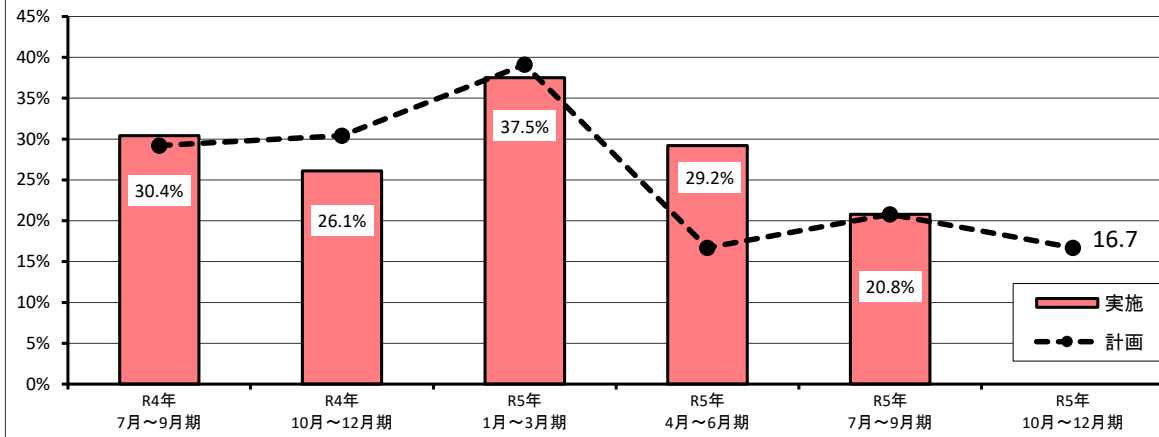
### 3. 各業種の景況

### (2) 建設業

#### ② 設備投資の状況（当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計）

設備投資の実施状況は20.8%（前期比8.4ポイント悪化）であった。

建設業	R4年		R5年			(計画)
	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	R5年 10月～12月期
土地	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	25.0%
車両・運搬具	28.6%	50.0%	11.1%	71.4%	40.0%	75.0%
建設機械	14.3%	16.7%	33.3%	42.9%	60.0%	0.0%
設備投資の実施	30.4%	26.1%	37.5%	29.2%	20.8%	16.7%

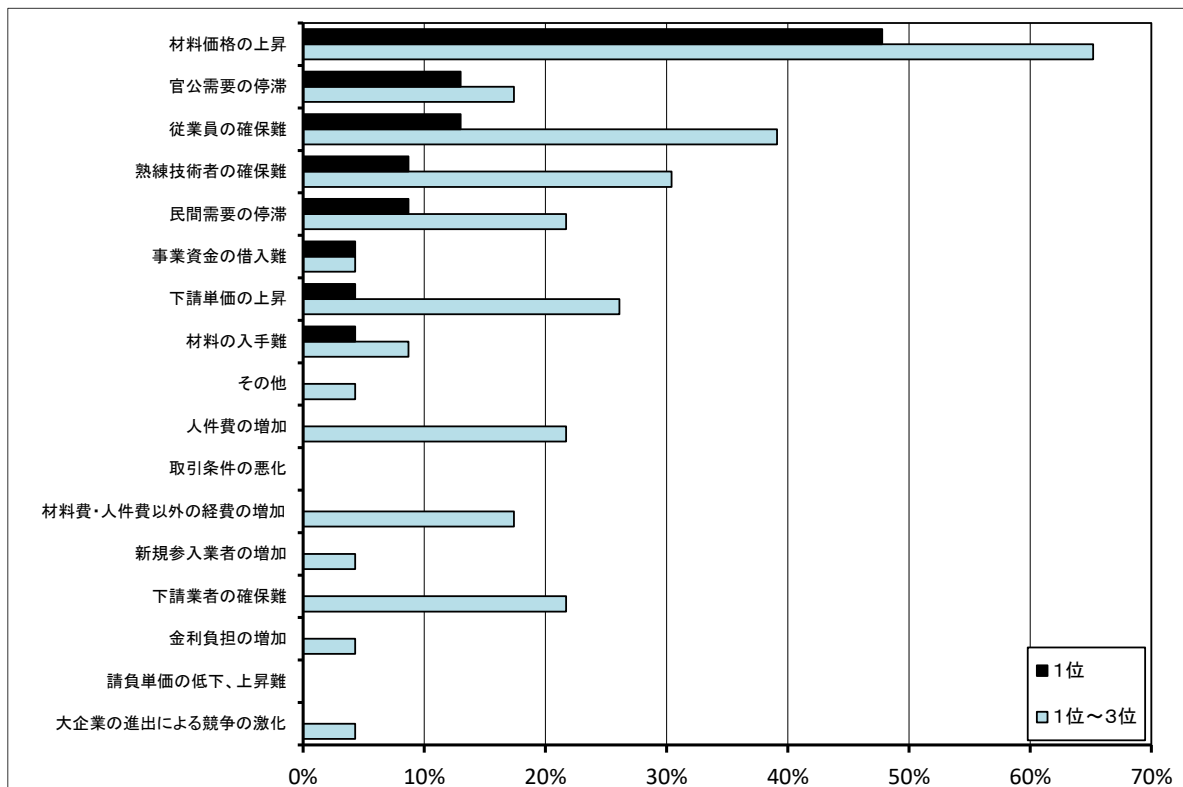


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

#### ③ 経営上の問題点

※グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「材料価格の上昇」「官公需の停滞」「従業員の確保難」が上位を占めた。

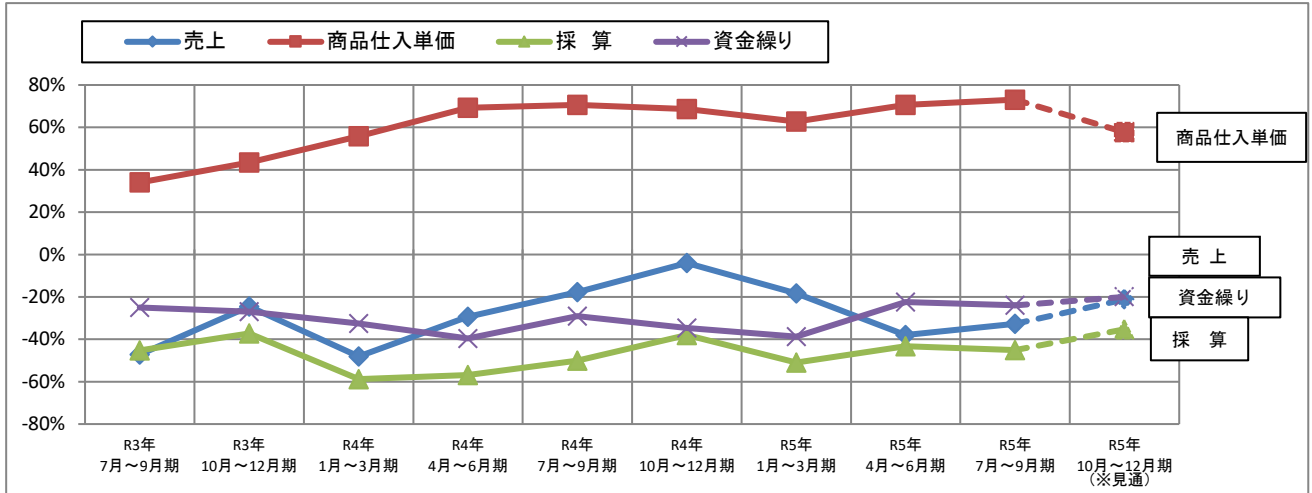


# 3. 各業種の景況

## (3) 小売業

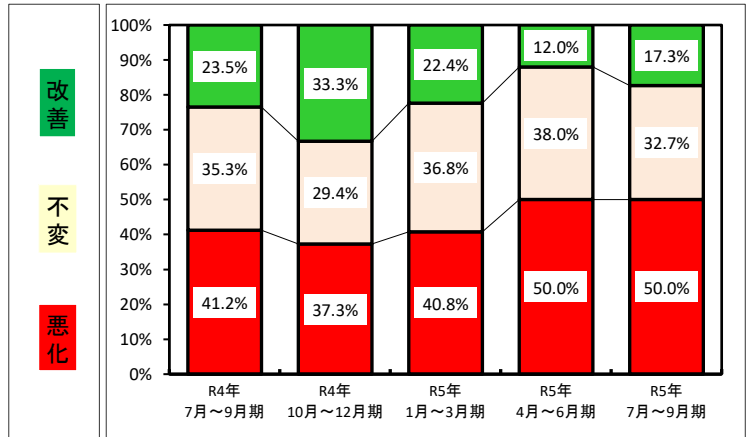
### ① 小売業 D・I 値 (景気動向指数) の推移 — 前年同期比 —

小売業	R4年		R5年			来期予測
	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	R5年 10月～12月期
売上	▲ 17.7%	▲ 4.0%	▲ 18.4%	▲ 38.0%	▲ 32.7%	▲ 21.2%
商品仕入単価	70.6%	68.6%	62.7%	70.6%	73.1%	57.7%
採算	▲ 50.0%	▲ 38.0%	▲ 51.0%	▲ 43.2%	▲ 45.1%	▲ 35.3%
資金繰り	▲ 29.1%	▲ 34.7%	▲ 38.8%	▲ 22.4%	▲ 24.0%	▲ 20.0%

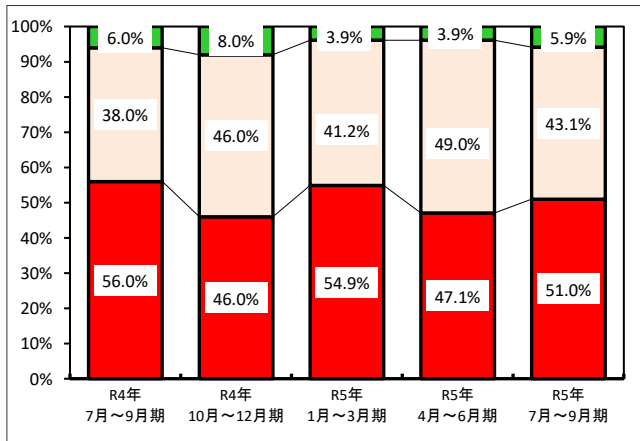


**売上** …… ▲ 32.7 ポイント  
 (前期比 5.3 ポイント改善)  
**仕入単価** …… 73.1 ポイント  
 (前期比 2.5 ポイント悪化)  
**採算** …… ▲ 45.1 ポイント  
 (前期比 1.9 ポイント悪化)  
**資金繰り** …… ▲ 24.0 ポイント  
 (前期比 1.6 ポイント悪化)

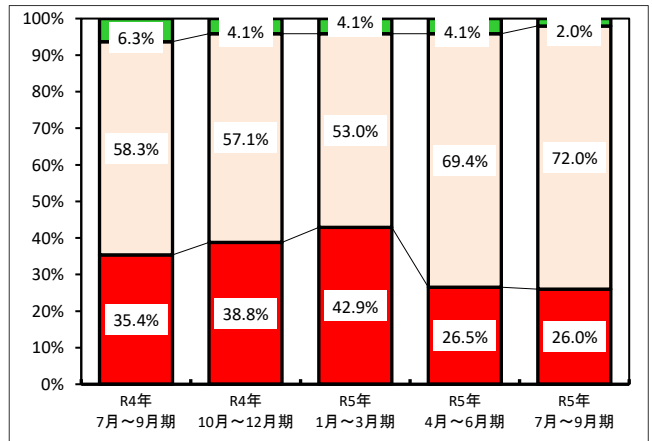
※『売上』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



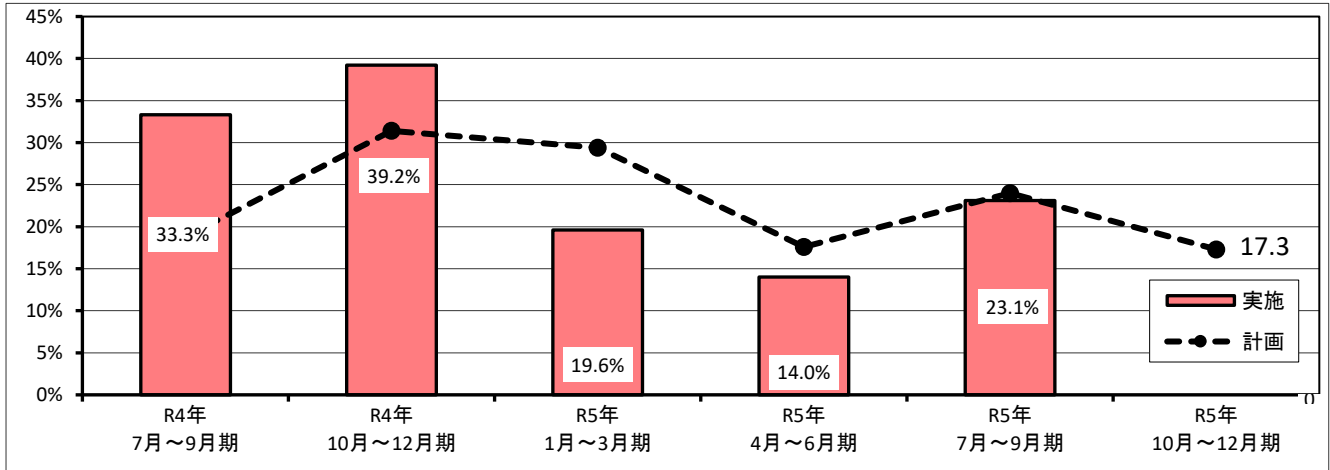
### 3. 各業種の景況

### (3) 小売業

#### ② 設備投資の状況(当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計)

設備投資を実施した企業数の割合は23.1%（前期比9.1ポイントの改善）であった。

小売業	R4年		R5年			(計画) R5年
	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期
土地	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	8.3%	11.1%
車両・運搬具	17.6%	20.0%	10.0%	0.0%	16.7%	11.1%
販売設備	29.4%	55.0%	40.0%	42.9%	41.7%	44.4%
設備投資の実施	33.3%	39.2%	19.6%	14.0%	23.1%	17.3%

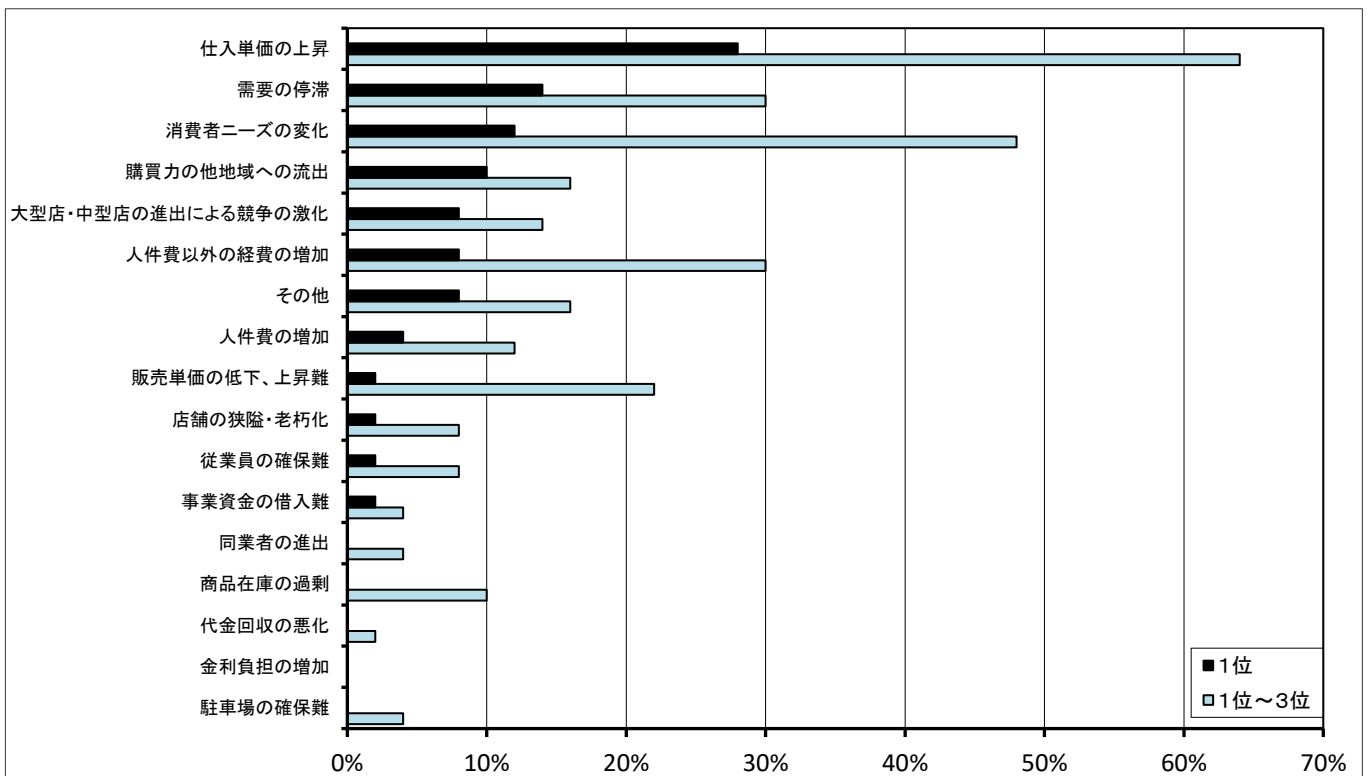


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

#### ③ 経営上の問題点

※グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「消費者ニーズの変化」が上位となった。

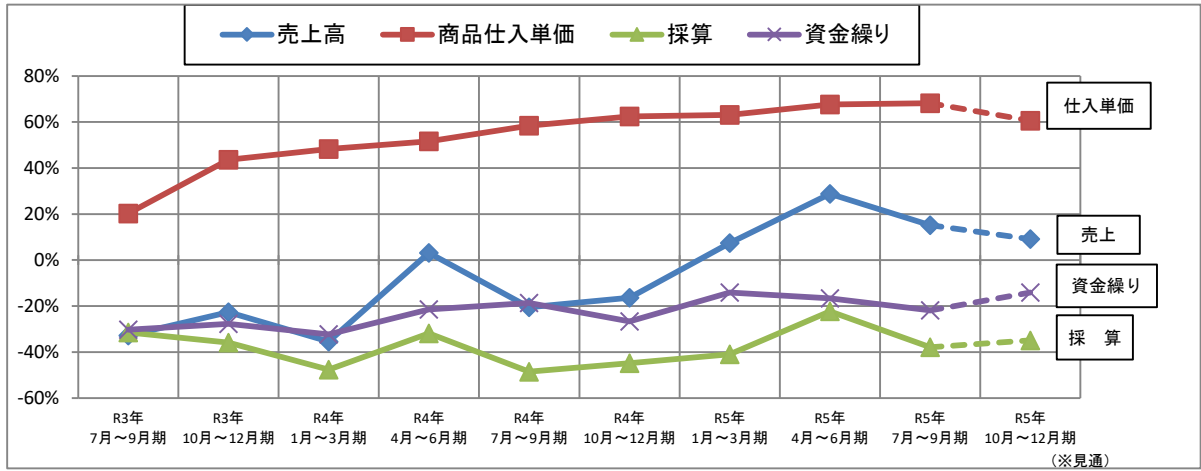


# 3. 各業種の景況

## (4) サービス業

### ① サービス業 D・I 値 (景気動向指数)の推移 ー前年同期比ー

サービス業	R4年		R5年			来期予測
	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	R5年 10月～12月期
売上	▲ 20.5 %	▲ 16.4 %	7.4 %	28.8 %	15.2 %	9.1 %
仕入単価	58.5 %	62.5 %	63.1 %	67.7 %	68.2 %	60.6 %
採算	▲ 48.5 %	▲ 44.8 %	▲ 40.9 %	▲ 22.3 %	▲ 37.9 %	▲ 34.9 %
資金繰り	▲ 18.7 %	▲ 26.6 %	▲ 14.1 %	▲ 16.6 %	▲ 21.9 %	▲ 14.1 %



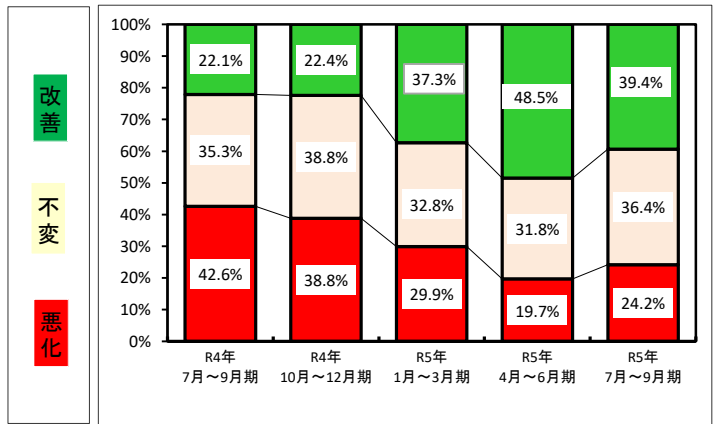
※『売上(収入)』の状況 前年同期比 (D・I 値)

売上・・・ 15.2 ポイント  
(前期比 13.6 ポイント悪化)

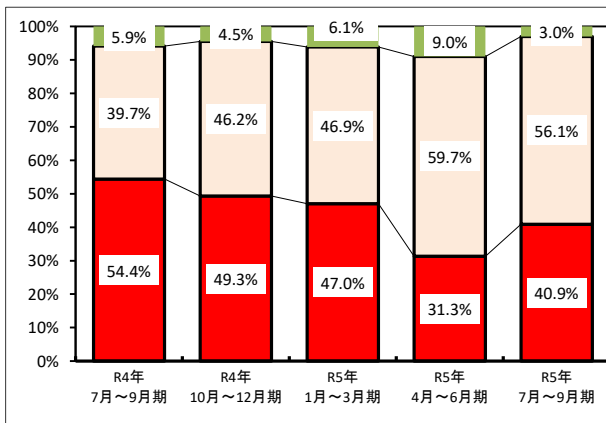
仕入単価・・・ 68.2 ポイント  
(前期比 0.5 ポイント改善)

採算・・・ ▲ 37.9 ポイント  
(前期比 15.6 ポイント改善)

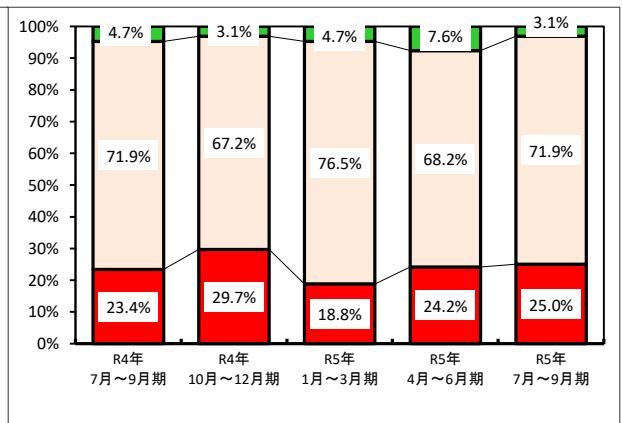
資金繰り・・・ ▲ 21.9 ポイント  
(前期比 5.3 ポイント悪化)



※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



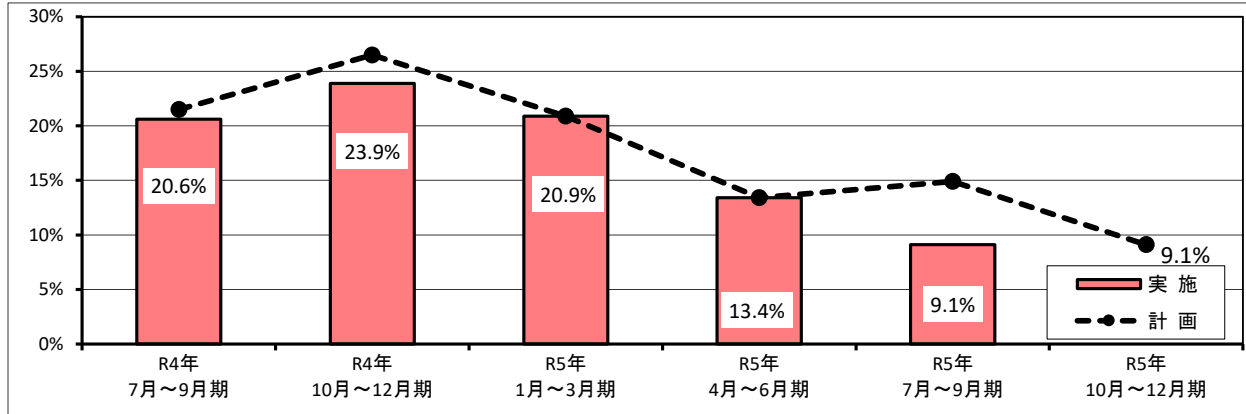
### 3. 各業種の景況

### (4) サービス業

② 設備投資の状況（当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計）

設備投資を実施した企業数の割合は9.1%（前期比4.3ポイントの悪化）であった。

サービス業	R4年		R5年			(計画)
	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	R5年 10月～12月期
土地	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
車両・運搬具	14.3%	12.5%	14.3%	11.1%	0.0%	16.7%
サービス設備	50.0%	37.5%	50.0%	55.6%	33.3%	50.0%
設備投資の実施	20.6%	23.9%	20.9%	13.4%	9.1%	9.1%

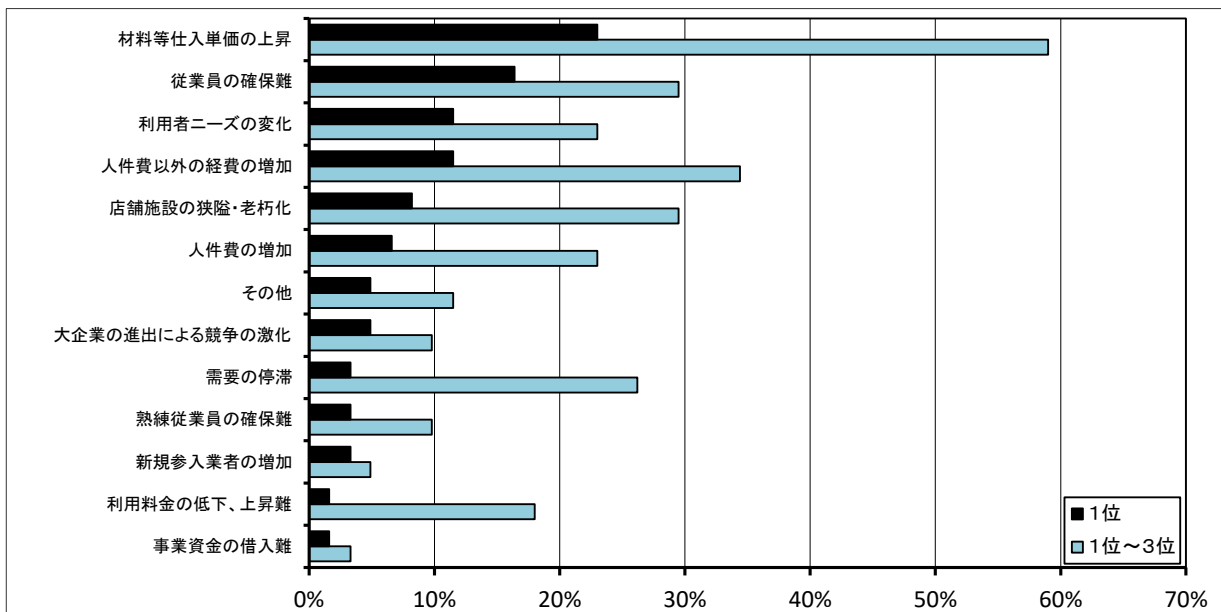


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

③ 経営上の問題点

※グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「材料等仕入単価の上昇」「従業員の確保難」「利用ニーズの変化」が上位となった。



## 京都府商工会連合会

600-8009 京都市下京区函谷鉾町78番地

京都経済センター 3F311号室

TEL : 075-205-5418

FAX : 075-343-0373

E-mail : [office@kyoto-fsci.or.jp](mailto:office@kyoto-fsci.or.jp)